

提言書

高速道路は、我が国の物流や人々の交流を支えるとともに、国民の命を守る重要な社会基盤です。

人口減少や高齢化が進む我が国において、円滑で安定した物流の確保により生産性を向上させ経済の活性化を図るためには、高速道路のストック効果を地域の隅々まで波及させる必要があります。

また、平成二十八年に発生した熊本地震や北海道等に大きな爪痕を残した台風第10号では、高速道路の整備により人流・物流の長期寸断が回避され、地域住民の生活を支えるための道路として大きな効果を発揮しました。

四国地方においても、人口減少や高齢化の進展による地域経済の縮小や、近い将来発生する南海トラフ地震による揺れや津波への対策を進めることが重要です。

このため、南海トラフ地震などの大規模災害に備えるとともに、地域の活性化につながる「四国8の字ネットワーク」の早期整備と安全性・利便性の向上が不可欠です。

このことから、四国の総意として、次の事項について提言します。

- 一、地域経済の成長を促し、大規模災害時には「命の道」となる「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消に向けた事業中区間の整備推進。
- 一、計画段階評価完了区間の早期事業化及び実施中区間の早期完了、計画段階評価の未実施区間の早期着手。
- 一、暫定二車線区間における安全・安心で快適な走行環境を確保するための、地域の実情や利用状況を踏まえた四車線化や付加車線設置等の推進。
- 一、将来にわたって安全性・信頼性を確保するための、計画的な老朽化対策等の推進。
- 一、利便性の向上による、人流の活性化や物流の効率化を図るための、スマートインターチェンジやSA・PA等の整備推進。
- 一、訪日外国人旅行者を含めた全ての高速道路利用者に、わかりやすい案内を行うための「高速道路ナンバリング」などの環境整備。
- 一、道路整備を推進するための、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」に規定する国の負担割合の特例を平成三十年以降も継続すること。

これらの項目を着実に実施するために、平成三十年予算では道路関係予算を拡大した上で、所要額を満額確保すること。

また、平成二十九年補正予算を早期に成立させること。

平成二十九年十一月九日

四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会



吉原 舟

四国経済連合会会長 千葉 昭

徳島県知事 飯泉 嘉門

香川県知事 浜田 恵造

愛媛県知事 中村 時広

高知県知事 尾崎 正直